

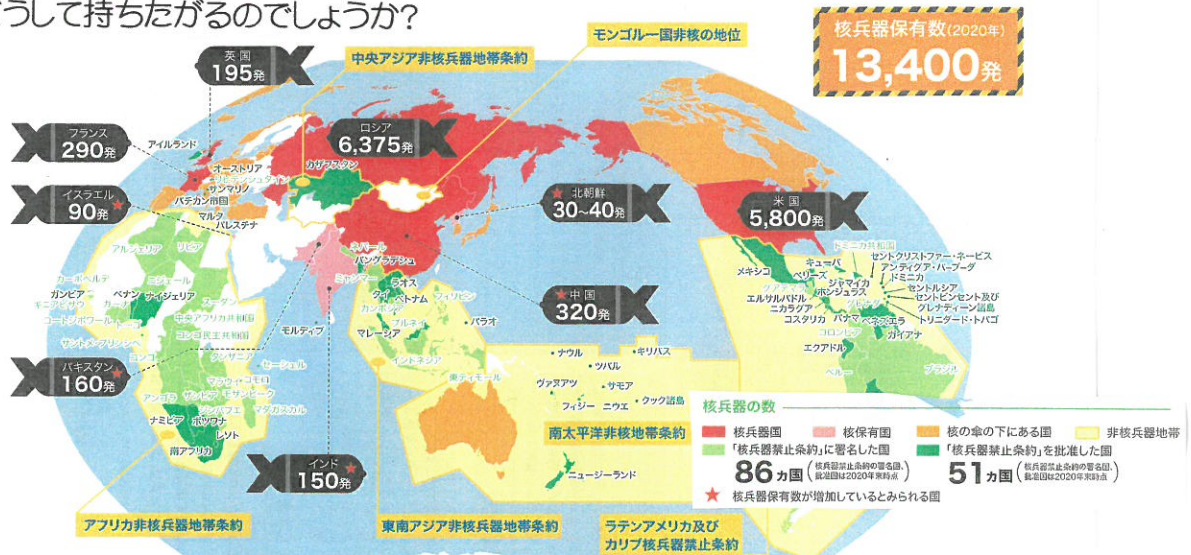


# 核兵器禁止条約を批准して 非核平和な世界を

## 五カ国の共同声明:核不拡散条約(NPT)での核保有国『米・英・仏・中・印』五

カ国が 2022 年 1/3「核戦争に勝者なし。決してその戦いはしてはならない」との共同声明を発表しました。まさにすばらしい声明です。

しかし五カ国は「核兵器禁止条約」に反対し、「核兵器は自国の防衛目的・侵略抑止のためには必要だ」というのです。“核戦争をしてはならない”と言っているその核兵器をどうして持ちたがるのでしょうか？



核兵器廃絶国際キャンペーン ICAN の事務局長が言うように「彼らはすばらしい声明を出したが、実際には逆のことをしている。彼らは軍拡競争をし、常に核戦争の始まりに備えている」のです。

NPT第6条の義務である「保有国の核軍縮のための誠実な交渉」が実際には進んでいない。

全世界の人々が世界の核兵器全廃のために『核兵器禁止条約』の批准に向け国内外で市民みづから行動を起こしていく必要があります。

“戦争での原爆による唯一の被爆国”日本は、今年開催される“核兵器禁止条約締約国会議”に、せめてオブザーバー参加すべきです。

又核兵器を頼りにした「核の傘」を安全保障の要にしている日本の方針を見直すべきです。



日本の目指す平和主義の内実は?その実現のため私は何をするの?

